

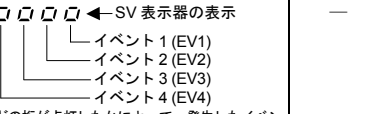
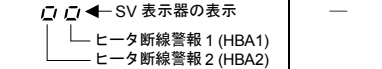
FB100

パラメーター一覧

All Rights Reserved, Copyright © 2008, RKC INSTRUMENT INC.

IMR01W14-J3

■ SV 設定&モニターモード

記 号	名 称	表示またはデータ範囲	出荷値
—	測定値 (PV)設定値 (SV) モニタ	PV 表示器: PV を表示します。 ² 入力スケール下限～入力スケール上限 SV 表示器: 制御の目標値を表示します。 ● 設定値 (SV) ² ● リモート設定 (RS) 入力値 ² ● マニュアル操作用力値	—
SH	設定値 (SV) ^{1, 2}	設定リミット下限～設定リミット上限 制御の目標値を設定します。	0
CF1	電流検出器 1 (CT1) 入力値 モニタ	0.0～30.0 A または 0.0～100.0 A CT1 入力ありのときに表示します。	—
CF2	電流検出器 2 (CT2) 入力値 モニタ	0.0～30.0 A または 0.0～100.0 A CT2 入力ありのときに表示します。	—
SHr	リモート設定 (RS) 入力値 モニタ ²	設定リミット下限～設定リミット上限 リモート設定 (RS) 入力ありのときに表示します。	—
EHn1	イベントモニタ 1	 □◀◀◀◀◀ SV 表示器の表示 イベント 1 (EV1) イベント 2 (EV2) イベント 3 (EV3) イベント 4 (EV4) どの桁が点灯したかによって、発生したイベント種類を確認できます。イベント 1～4 種類のいずれかで、イベント動作が選択されている場合に表示します。	—
EHn2	イベントモニタ 2	 □◀◀◀◀◀ SV 表示器の表示 ヒータ断線警報 1 (HBA1) ヒータ断線警報 2 (HBA2) どの桁が点灯したかによって、発生した HBA 種類を確認できます。CT1 または CT2 入力ありの場合に表示します。CT 割付で「0: なし」に設定した場合は表示しません。	—
nH	操作用力値 (MV1) モニタ [加熱側] ³	PID 制御、加熱冷却 PID 制御: 操作用力値 (MV1) を表示します。 -5.0～+105.0 % 位置比例 PID 制御で、かつ開度帰還抵抗 (FBR) 入力使用時: 開度帰還抵抗 (FBR) 入力値を表示します。 0.0～100.0 %	—
nH2	操作用力値 (MV2) モニタ [冷却側]	-5.0～+105.0 % 冷却側の操作用力値 (MV2) を表示します。 加熱冷却 PID 制御の場合に表示します。	—
RPf	メモリエリア運転経過時間 モニタ ⁴	0 分 00 秒～199 分 59 秒または 0 時間 00 分～99 時間 59 分 簡易プログラム運転時の、メモリエリア運転経過時間 (ソーク時間) を表示します。	—
RrE	メモリエリア切換	1～8 制御エリア内部 (ローカル)／外部 (エクスターナル) 切換でエクスターナルモードの場合、SV 表示器に「d1」が表示され、設定変更はできません。	1
PSn1	MV 転送時の操作用力値	PID 制御: 出力リミット下限 (MV1)～ 出力リミット上限 (MV1) 加熱冷却 PID 制御: +出力リミット上限 (MV2)～ +出力リミット上限 (MV1) オーバーラップ動作時は -105.0～+105.0 % * * 実際の出力値は、出力リミットでリミットされた値となります。 オートモード時に、手動で操作用力値 (MV1、MV2) を変更できます。 MV 転送機能で「0」に設定した場合は、表示しません。	0.0
ILr	インターロック解除	on: インターロック状態 oFF: インターロック解除 イベント 1～4 インターロック機能不使用の場合は、表示しません。	oFF

¹ メモリエリア対応項目
² 小数点位置は、小数点位置設定によって異なります。
³ 位置比例制御で、開度帰還抵抗 (FBR) 入力を使用しない場合は表示しません。
⁴ デジタル入力 (DI) 割付 (エンジニアリングモード) の値が 6～12 の場合は表示しません。

■ 運転モード

記 号	名 称	データ範囲	出荷値
RFU	PID/AT 切換	on: AT 実行 oFF: PID 制御	oFF
SFU	スタートアップ チューニング (ST)	on1: 1 回実行 * on2: 毎回実行 oFF: ST 不使用 * スタートアップチューニングが終了すると、自動的に「oFF: ST 不使用」に戻ります。 電源 ON 時、STOP から RUN に切り換えたとき、または SV 変更時に、スタートアップチューニング (ST) を実行します。 位置比例 PID 制御の場合は表示しません。	oFF
CHr	自動昇温学習	on: 学習する * oFF: 機能なし * 自動昇温学習が終了すると、自動的に「oFF: 機能なし」に戻ります。 自動昇温グループを「0」に設定している場合は、表示しません。	on
R-n	オート／マニュアル切換	AUTO: オートモード MAN: マニュアルモード	AUTO
r-L	リモート／ローカル切換	LoC: ローカルモード rEM: リモートモード リモート設定 (RS) 入力または通信機能ありのときに表示します。	LoC

記 号	名 称	データ範囲	出荷値
L-E	制御エリア内部 (ローカル)／外部 (エクスターナル) 切換 ¹	LoC: ローカルモード EXT: エクスターナルモード	LoC
r-S	RUN/STOP 切換	rUn: RUN (制御開始) SToP: STOP (制御停止)	rUn

¹ デジタル入力 (DI) 割付 (エンジニアリングモード) の値が 6～12 の場合のみ表示します。

■ パラメータ設定モード

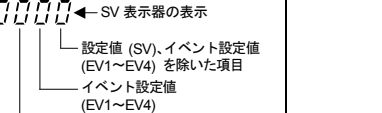
記 号	名 称	データ範囲	出荷値
EH1	イベント 1 設定値 (EV1) ¹	偏 差: -入力スパン～+入力スパン ² 入力値または設定値: 入力スケール下限～入力スケール上限 ² 操作用力値 (MV1 または MV2): -5.0～+105.0 % イベント機能なしの場合は、表示しません。 制御ループ断線警報 (LBA) の場合は、EV4 は表示しません。	50
EH2	イベント 2 設定値 (EV2) ¹		50
EH3	イベント 3 設定値 (EV3) ¹		50
EH4	イベント 4 設定値 (EV4) ¹		50
LbR	制御ループ断線警報 (LBA) 時間 ¹	1～7200 秒、oFF: 機能なし イベント 4 が制御ループ断線警報 (LBA) の場合に表示されます。	480
Lbd	LBA デッドバンド ^{1, 2}	0～入力スパン イベント 4 が制御ループ断線警報 (LBA) の場合に表示されます。	0
P	比例帯 [加熱側] ¹	熱電対 (TC)／測温抵抗体 (RTD) 入力: 0 (0.0、0.00)～入力スパン ² (単位: °C) 電圧 (V)／電流 (I) 入力: 入力スパンの 0.0～1000.0 % 0 (0.0、0.00): 二位置動作	30 ^a
I	積分時間 [加熱側] ^{1, 3}	PID 制御または加熱冷却 PID 制御: 1～3600 秒または 0.1～1999.9 秒 oFF: PD 動作 (加熱側、冷却側共) 位置比例 PID 制御: 1～3600 秒または 0.1～1999.9 秒	240
d	微分時間 [加熱側] ^{1, 3}	1～3600 秒または 0.1～1999.9 秒 oFF: PI 動作	60
rPf	制御応答パラメータ ¹	0: Slow 1: Medium 2: Fast IP、PD 動作時は無効	Note 1
Pc	比例帯 [冷却側] ^{1, 4}	熱電対 (TC)／測温抵抗体 (RTD) 入力: 1 (0.1、0.01)～入力スパン ² (単位: °C) 電圧 (V)／電流 (I) 入力: 入力スパンの 0.1～1000.0 %	30 ^a
Ic	積分時間 [冷却側] ^{1, 3, 4}	1～3600 秒または 0.1～1999.9 秒 oFF: PD 動作 (加熱側、冷却側共)	240
dc	微分時間 [冷却側] ^{1, 3, 4}	1～3600 秒または 0.1～1999.9 秒 oFF: PI 動作	60
db	オーバーラップ／デッドバンド ^{1, 4}	熱電対 (TC)／測温抵抗体 (RTD) 入力: -入力スパン～+入力スパン ² (単位: °C) 電圧 (V)／電流 (I) 入力: 入力スパンの -100.0～+100.0 % マイナス (-) を設定するとオーバーラップとなります。ただし、オーバーラップ範囲は、比例帯の範囲内となります。	0 ^a
nrr	マニュアルリセット ¹	-100.0～+100.0 % 手動でオフセットを修正します。積分時間 [加熱側] または積分時間 [冷却側] が、oFF の場合に表示します。	0.0
SHrU	設定変化率リミット上昇 ^{1, 2}	1～入力スパン／単位時間 * oFF: 機能なし * 単位時間 (出荷値): 60 秒	oFF
SHrd	設定変化率リミット下降 ^{1, 2}		oFF
RSf	エリアソーク時間 ^{1, 5}	0 分 00 秒～199 分 59 秒または 0 時間 00 分～99 時間 59 分 簡易プログラム運転を行う場合の、エリアソーク時間を設定します。 エリアソーク時間のデータ範囲は、ソーク時間単位で選択できます。	0:00
LnER	リンク先エリア番号 ^{1, 5}	1～8、oFF: リンクなし メモリエリアどうしをリンクさせることで、簡易プログラム運転ができます。その際のリンク先のメモリエリアを設定します。	oFF

¹ メモリエリア対応項目
² データ範囲は、小数点位置によって異なります。
³ データ範囲は、積分／微分時間の小数点位置によって異なります。
⁴ 加熱冷却 PID 制御の場合に表示します。
⁵ デジタル入力 (DI) 割付 (エンジニアリングモード) の値が 6～12 の場合は表示しません。
^a 出荷値は製品の仕様によって異なります。
Note 1: PID 制御、位置比例 PID 制御 (0) 加熱冷却 PID 制御 (2)

■ セットアップ設定モード

記 号	名 称	データ範囲	出荷値
HbR1	ヒータ断線警報 1 (HBA1) 設定値 ^{a, b}	電流検出器が CTL-6-P-N の場合: 0.1～30.0 A oFF: 機能なし 電流検出器が CTL-12-S56-10L-N の場合: 0.1～100.0 A oFF: 機能なし	oFF
HbL1	ヒータ断線判断点 ^{1 a, b, c}	HBA1 設定値の 0.1～100.0 % oFF: ヒータ断線判断無効	30.0
HbH1	ヒータ溶着判断点 ^{1 a, b, c}	HBA1 設定値の 0.1～100.0 % oFF: ヒータ溶着判断無効	30.0
HbR2	ヒータ断線警報 2 (HBA2) 設定値 ^{d, e}	電流検出器が CTL-6-P-N の場合: 0.1～30.0 A oFF: 機能なし 電流検出器が CTL-12-S56-10L-N の場合: 0.1～100.0 A oFF: 機能なし	oFF
HbL2	ヒータ断線判断点 ^{2 d, e, f}	HBA2 設定値の 0.1～100.0 % oFF: ヒータ断線判断無効	30.0
HbH2	ヒータ溶着判断点 ^{2 d, e, f}	HBA2 設定値の 0.1～100.0 % oFF: ヒータ溶着判断無効	30.0

^a CT1 入力ありの場合に表示します。
^b CT1 割付で「0: なし」に設定した場合は表示しません。
^c HBA1 が、タイプ B の場合に表示します。
^d CT2 入力ありの場合に表示します。
^e CT2 割付で「0: なし」に設定した場合は表示しません。
^f HBA2 が、タイプ B の場合に表示します。

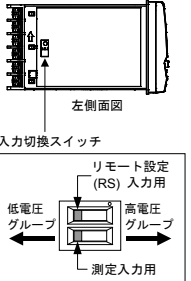
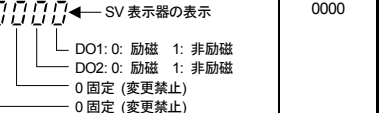
記 号	名 称	データ範囲	出荷値																																																								
Pb	PV バイアス ¹	-入力スパン～+入力スパン	0																																																								
dF	PV デジタルフィルタ	0.1～100.0 秒、oFF: 不使用	oFF																																																								
Pr	PV レシオ	0.500～1.500	1.000																																																								
PLC	PV 低入力カットオフ	入力スパンの 0.00～25.00 % 加熱冷却 PID 制御の場合に表示します。	0.00																																																								
rb	RS バイアス ^{1, a}	-入力スパン～+入力スパン	0																																																								
dF2	RS デジタルフィルタ ^a	0.1～100.0 秒、oFF: 不使用	oFF																																																								
r	RS レシオ ^a	0.001～9.999	1.000																																																								
f	比例周期 [加熱側]	0.1～100.0 秒 電圧／電流出力の場合は表示しません。	20.0 ^b																																																								
t	比例周期 [冷却側]	0.1～100.0 秒 加熱冷却 PID 制御の場合に表示します。 電圧／電流出力の場合は表示しません。	20.0 ^b																																																								
Add1	デバイスアドレス 1 ^c	0～99 マルチドロップ接続では重複しないように設定してください。MODBUS の場合は、0 にすると通信を行いません。	0																																																								
bPS1	通信速度 ^{1 c, d}	2.4: 2400 bps 4.8: 4800 bps 9.6: 9600 bps 19.2: 19200 bps 38.4: 38400 bps	19.2																																																								
bIf1	データビット構成 ^{1 c, d}	<table><tr><th></th><th colspan="3">ビット構成</th></tr><tr><th></th><th>データ</th><th>ストップ</th><th>パリティ</th></tr><tr><td>8n1</td><td>8</td><td>1</td><td>なし</td></tr><tr><td>8n2</td><td>8</td><td>2</td><td>なし</td></tr><tr><td>8E1</td><td>8</td><td>1</td><td>偶数</td></tr><tr><td>8E2</td><td>8</td><td>2</td><td>偶数</td></tr><tr><td>8o1</td><td>8</td><td>1</td><td>奇数</td></tr><tr><td>8o2</td><td>8</td><td>2</td><td>奇数</td></tr><tr><td>7n1*</td><td>7</td><td>1</td><td>なし</td></tr><tr><td>7n2*</td><td>7</td><td>2</td><td>なし</td></tr><tr><td>7E1*</td><td>7</td><td>1</td><td>偶数</td></tr><tr><td>7E2*</td><td>7</td><td>2</td><td>偶数</td></tr><tr><td>7o1*</td><td>7</td><td>1</td><td>奇数</td></tr><tr><td>7o2*</td><td>7</td><td>2</td><td>奇数</td></tr></table> * MODBUS 通信時は設定無効。		ビット構成				データ	ストップ	パリティ	8n1	8	1	なし	8n2	8	2	なし	8E1	8	1	偶数	8E2	8	2	偶数	8o1	8	1	奇数	8o2	8	2	奇数	7n1*	7	1	なし	7n2*	7	2	なし	7E1*	7	1	偶数	7E2*	7	2	偶数	7o1*	7	1	奇数	7o2*	7	2	奇数	8n1
	ビット構成																																																										
	データ	ストップ	パリティ																																																								
8n1	8	1	なし																																																								
8n2	8	2	なし																																																								
8E1	8	1	偶数																																																								
8E2	8	2	偶数																																																								
8o1	8	1	奇数																																																								
8o2	8	2	奇数																																																								
7n1*	7	1	なし																																																								
7n2*	7	2	なし																																																								
7E1*	7	1	偶数																																																								
7E2*	7	2	偶数																																																								
7o1*	7	1	奇数																																																								
7o2*	7	2	奇数																																																								
Inf1	インターバル時間 ^{1 c, d}	0～250 ms	10																																																								
Add2	デバイスアドレス 2 ^e	デバイスアドレス 1 と同じ																																																									
bPS2	通信速度 ^{2 d, e}	通信速度 1 と同じ																																																									
bIf2	データビット構成 ^{2 d, e}	データビット構成 1 と同じ																																																									
Inf2	インターバル時間 ^{2 d, e}	インターバル時間 1 と同じ																																																									
LCE	設定ロックレベル	0: 設定可 (ロック解除) 1: 設定不可 (ロック) 桁ごとに、0 または 1 を設定します。  □◀◀◀◀◀ SV 表示器の表示 設定値 (SV)、イベント設定値 (EV1～EV4) を除いた項目 イベント設定値 (EV1～EV4) 設定値 (SV) 0 固定 (変更禁止)	0000																																																								

¹ データ範囲は、小数点位置によって異なります。
^a リモート設定 (RS) 入力または通信機能ありのときに表示します。
^b 出荷値は製品の仕様によって異なります。
^c 通信 1 ありの場合に表示します。
^d コントローラ間通信機能を選択した場合は表示されません。
^e 通信 2 ありの場合に表示します。

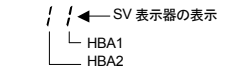
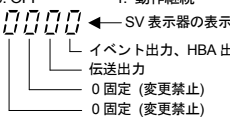
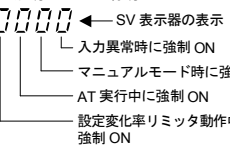
■ エンジニアリングモード

 エンジニアリングモードの設定を行うには、STOP (制御停止) にする必要があります。ただし、確認のみは RUN 状態でもできます。また、該当機能を指定していないと、無効になるパラメータがあります。

記 号	名 称	データ範囲	出荷値
F10.	ファンクションブロック 10	ファンクションブロック 10 の最初のパラメータ	
SPCH	STOP 表示位置	0: PV 表示に「STOP」を表示 1: SV 表示に「STOP」を表示	1
dE	バーグラフ表示	0: 表示なし 4: 偏差値 1: MV 5: CT1 入力値 2: PV 6: CT2 入力値 3: SV モニタ	1
dEur	バーグラフ表示分解能	1～100 digit/dot 偏差値または CT 入力値の場合に設定可能	100
dSoP	入力異常時の PV 点滅表示	0: 点滅 1: 点滅表示なし	0
F11.	ファンクションブロック 11	ファンクションブロック 11 の最初のパラメータ	
Fn1	ダイレクトキー選択	0: ダイレクトキー不使用 1: ダイレクトキー使用	1
Fn	ダイレクトキー種類	1: オート／マニュアル切換 2: モニタ 3: メモリエリア切換 4: リモート／ローカル切換 5: RUN/STOP 切換	1

記 号	名 称	データ範囲	出荷値
F21.	ファンクションブロック 21	ファンクションブロック 21 の最初のパラメータ	
InP	入力種類	0: 熱電対 K 1: 熱電対 J 2: 熱電対 R 3: 熱電対 S 4: 熱電対 B 5: 熱電対 E 6: 熱電対 N 7: 熱電対 T 8: 熱電対 W5Re/W26Re 9: 熱電対 PLII 10: 熱電対 U 11: 熱電対 L 12: 測温抵抗体 Pt100 13: 測温抵抗体 JPt100 14: 電流 DC 0～20 mA 15: 電流 DC 4～20 mA 16: 電圧 (高) DC 0～10 V 17: 電圧 (高) DC 0～5 V 18: 電圧 (高) DC 1～5 V 19: 電圧 (低) DC 0～1 V 20: 電圧 (低) DC 0～100 mV 21: 電圧 (低) DC 0～10 mV 24: 電圧 (高) DC ±1 V 25: 電圧 (低) DC ±100 mV 26: 電圧 (低) DC ±10 mV	0 ^a
		 左側面図 入力切換スイッチ 低電圧グループ 高電圧グループ リモート設定 (RS) 入力用 測定入力用	
UnIf	表示単位	0: °C (0 固定) 熱電対 (TC)／測温抵抗体 (RTD) 入力時の単位です。	0
PGdP	小数点位置	0: 小数点なし 3: 小数点以下 3 桁 1: 小数点以下 1 桁 4: 小数点以下 4 桁 2: 小数点以下 2 桁 熱電対 (TC) 入力: K、J、E の場合: 0、1 のみ選択可能 T、U、L の場合: 1 のみ選択可能 上記以外の場合: 0 のみ選択可能 測温抵抗体 (RTD) 入力: 0～2 の範囲で選択可能 電圧 (V)／電流 (I) 入力: すべて選択可能	0 ^a
PGSH	入力スケール上限	熱電対 (TC)／測温抵抗体 (RTD) 入力: 入力スケール下限～入力レンジの最大値 電圧 (V)／電流 (I) 入力: -19999～+19999 (小数点位置の設定によって異なる)	入力レンジの最大値 ^a
PGSL	入力スケール下限	熱電対 (TC)／測温抵抗体 (RTD) 入力: 入力レンジの最小値～入力スケール上限 電圧 (V)／電流 (I) 入力: -19999～+19999 (小数点位置の設定によって異なる)	入力レンジの最小値 ^a
PaH	入力異常判断点上限	入力スケール下限 - (入力スパンの 5%)～ 入力スケール上限 + (入力スパンの 5%) (小数点位置の設定によって異なる)	入力スケール上限 + (入力スパンの 5%) ^a
PUn	入力異常判断点下限		入力スケール下限 - (入力スパンの 5%) ^a
boS	バーンアウト方向	0: アップスケール 1: ダウンスケール 熱電対入力と電圧 (低) 入力の場合に有効	0
Sqr	開平演算	0: 開平演算なし 1: 開平演算あり	0
PFrfq	電源周波数	0: 50 Hz 1: 60 Hz 表示器の表示がチラつく場合は、ご使用の電源周波数と同じ値に設定してください。 CT 入力ありの場合で、電源周波数が測定できているときは変更できません。	0
SnP	サンプリング周期	0: 50 ms 1: 100 ms 2: 250 ms	1
F22.	ファンクションブロック 22	ファンクションブロック 22 の最初のパラメータ	
rInP	リモート設定入力種類 電圧 (高) または電圧 (低) 入力の変更については、入力種類を参照してください。	14: DC 0～20 mA 18: DC 1～5 V 15: DC 4～20 mA 19: DC 0～1 V 16: DC 0～10 V 20: DC 0～100 mV 17: DC 0～5 V 21: DC 0～10 mV	15 ^a
F23.	ファンクションブロック 23	ファンクションブロック 23 の最初のパラメータ	
d1SL	デジタル入力 (DI) 割付	1～26 (表 1 参照)	1
F30.	ファンクションブロック 30	ファンクションブロック 30 の最初のパラメータ	
LoGL	出力割付	1～15 (表 2 参照)	1
offf1	タイマ 1	0.0～600.0 秒	0.0
offf2	タイマ 2	タイマ機能を使用する場合は、カスタマイズツールが必要です。	0.0
offf3	タイマ 3		0.0
offf4	タイマ 4		0.0
ELC	励磁／非励磁	 DO1: 0: 励磁 1: 非励磁 DO2: 0: 励磁 1: 非励磁 0 固定 (変更禁止) 0 固定 (変更禁止)	0000

^a 出荷値は製品の仕様によって異なります。

記 号	名 称	データ範囲	出荷値
<i>RLC1</i>	警報ランプ点灯条件 1 ^a	0: 点灯しない 1: 点灯する 	1111
<i>RLC2</i>	警報ランプ点灯条件 2 ^a	0: 点灯しない 1: 点灯する 	0011
<i>SS</i>	STOP 時の出力状態	0: OFF 1: 動作継続 	0000
<i>F33</i>	ファンクションブロック 33	ファンクションブロック 33 の最初のパラメータ	
<i>Ro</i>	伝送出力種類	0: 伝送出力なし 5: MV2 [冷却側] 1: PV 6: SV 2: SV モニタ 7: リモート設定 (RS) 3: 偏差値 入力値 4: MV1 [加熱側]	1
<i>RHS</i>	伝送出力スケール上限	PV、SV、SV モニタ、RS の場合: 入力スケール下限～入力スケール上限 (小数点位置の設定によって異なる)	入力スケール上限
<i>RLS</i>	伝送出力スケール下限	MV1、MV2 の場合: -5.0～+105.0 % 偏差値の場合: -入力スパン～+入力スパン	入力スケール下限
<i>F41</i>	ファンクションブロック 41	ファンクションブロック 41 の最初のパラメータ	
<i>ESI</i>	イベント 1 種類	0: イベント機能なし 1: 上限偏差 ¹ 2: 下限偏差 ¹ 3: 上下限偏差 ¹ 4: 範囲内 ¹ 5: 上限入力値 ¹ 6: 下限入力値 ¹ 7: 上限設定値 8: 下限設定値 9: 不使用 10: 上限操作出力値 (MV1) [加熱側] ^{1, 2} 11: 下限操作出力値 (MV1) [加熱側] ^{1, 2} 12: 上限操作出力値 (MV2) [冷却側] ¹ 13: 下限操作出力値 (MV2) [冷却側] ¹ ¹ イベント待機動作の選択が可能です。 ² 開度帰還抵抗 (FBR) 入力使用時は、開度帰還抵抗 (FBR) 入力値になります。	0 ^b
<i>EHo1</i>	イベント 1 待機動作	0: 待機なし 1: 待機あり 2: 再待機あり	0 ^b
<i>EIL1</i>	イベント 1 インターロック	0: 不使用 1: 使用	0
<i>EH1</i>	イベント 1 動作すきま	偏差、入力値、設定値: 0～入力スパン (小数点位置の設定によって異なる) 操作出力値: 0.0～110.0 %	2 ^b
<i>EHF1</i>	イベント 1 遅延タイマ	0.0～600.0 秒	0.0
<i>EEo1</i>	イベント 1 動作の強制 ON 選択	0: 無効 1: 有効 	0000
<i>F42</i>	ファンクションブロック 42	ファンクションブロック 42 の最初のパラメータ	
<i>ES2</i>	イベント 2 種類	イベント 1 種類と同じ	
<i>EHo2</i>	イベント 2 待機動作	イベント 1 待機動作と同じ	
<i>EIL2</i>	イベント 2 インターロック	イベント 1 インターロックと同じ	
<i>EH2</i>	イベント 2 動作すきま	イベント 1 動作すきまと同じ	
<i>EHF2</i>	イベント 2 遅延タイマ	イベント 1 遅延タイマと同じ	
<i>EEo2</i>	イベント 2 動作の強制 ON 選択	イベント 1 動作の強制 ON 選択と同じ	
<i>F43</i>	ファンクションブロック 43	ファンクションブロック 43 の最初のパラメータ	
<i>ES3</i>	イベント 3 種類	イベント 1 種類と同じ	
<i>EHo3</i>	イベント 3 待機動作	イベント 1 待機動作と同じ	
<i>EIL3</i>	イベント 3 インターロック	イベント 1 インターロックと同じ	
<i>EH3</i>	イベント 3 動作すきま	イベント 1 動作すきまと同じ	
<i>EHF3</i>	イベント 3 遅延タイマ	イベント 1 遅延タイマと同じ	
<i>EEo3</i>	イベント 3 動作の強制 ON 選択	イベント 1 動作の強制 ON 選択と同じ	
<i>F44</i>	ファンクションブロック 44	ファンクションブロック 44 の最初のパラメータ	
<i>ES4</i>	イベント 4 種類	9: 制御ループ断線警報 (LBA) その他のデータは、イベント 1 種類と同じ	

^a 「点灯する」に設定したイベント1～4、HBA1およびHBA2の中で、1つでも警報になると計器前面の警報ランプ (ALM) が点灯します。

^b 出荷値は製品の仕様によって異なります。

記 号	名 称	データ範囲	出荷値
<i>EHo4</i>	イベント 4 待機動作	イベント 1 待機動作と同じ 制御ループ断線警報 (LBA) の場合は無効	
<i>EIL4</i>	イベント 4 インターロック	イベント 1 インターロックと同じ	
<i>EH4</i>	イベント 4 動作すきま	イベント 1 動作すきまと同じ 制御ループ断線警報 (LBA) の場合は無効	
<i>EHF4</i>	イベント 4 遅延タイマ	イベント 1 遅延タイマと同じ	
<i>EEo4</i>	イベント 4 動作の強制 ON 選択	イベント 1 動作の強制 ON 選択と同じ 制御ループ断線警報 (LBA) の場合は無効	
<i>F45</i>	ファンクションブロック 45	ファンクションブロック 45 の最初のパラメータ	
<i>CFr1</i>	CT1 レシオ	0～9999 CT 種類: CTL-6-P-N CTL-12-SS6-10L-N	800 ^a
<i>CFR1</i>	CT1 割付	0: なし 3: DO1 1: OUT1 4: DO2 2: OUT2	1
<i>HbS1</i>	ヒータ断線警報 1 (HBA1) 種類	0: ヒータ断線警報 1 (HBA1) タイプ A 1: ヒータ断線警報 1 (HBA1) タイプ B	0 ^a
<i>HbC1</i>	ヒータ断線警報 1 (HBA1) 遅延回数	0～255	5
<i>F46</i>	ファンクションブロック 46	ファンクションブロック 46 の最初のパラメータ	
<i>CFr2</i>	CT2 レシオ	CT1 レシオと同じ	
<i>CFR2</i>	CT2 割付	0: なし 3: DO1 1: OUT1 4: DO2 2: OUT2	0
<i>HbS2</i>	ヒータ断線警報 2 (HBA2) 種類	0: ヒータ断線警報 2 (HBA2) タイプ A 1: ヒータ断線警報 2 (HBA2) タイプ B	0
<i>HbC2</i>	ヒータ断線警報 2 (HBA2) 遅延回数	ヒータ断線警報 1 (HBA1) 遅延回数と同じ	
<i>F50</i>	ファンクションブロック 50	ファンクションブロック 50 の最初のパラメータ	
<i>Pd</i>	ホット/コールドスタート	0: ホットスタート 1 2: コールドスタート 1: ホットスタート 2 3: STOP スタート	0
<i>PdR</i>	スタート判断点	0～入力スパン (単位は入力値と同じ) (0: ホット/コールドスタート動作に従う) (小数点位置の設定によって異なる)	入力スパンの 3 %
<i>CRn</i>	外部入力種類	0: リモート設定入力 1: コントローラ間通信カスケード制御 2: コントローラ間通信比率設定	0
<i>nCH</i>	マスタチャネル選択	0～31 この値は、コントローラ間通信カスケード制御または比率設定の場合に有効です。	0
<i>FrE</i>	SV トラッキング	0: SV トラッキングなし 1: SV トラッキングあり	1
<i>nHFS</i>	MV 転送機能 [オートモード→マニュアルモードへ切り換えたときの動作]	0: オートモード時の操作出力値 (MV1 または MV2) を使用 1: デジタル入力 (DI) で切り換えたとき: 前回のマニュアルモード時の操作出力値 (MV1 または MV2) を使用 前面キーで切り換えたとき: オートモード時の操作出力値 (MV1 または MV2) を使用 2: 前回のマニュアルモード時の操作出力値 (MV1 または MV2) を使用	0
<i>PHFS</i>	PV 転送機能	0: 不使用 1: 使用	0
<i>F51</i>	ファンクションブロック 51	ファンクションブロック 51 の最初のパラメータ	
<i>oS</i>	制御動作	0: プリリアント II PID 制御 (正動作) 1: プリリアント II PID 制御 (逆動作) 2: プリリアント II 加熱冷却 PID 制御 [水冷] 3: プリリアント II 加熱冷却 PID 制御 [空冷] 4: プリリアント II 加熱冷却 PID 制御 [冷却ゲインニアタイプ] 5: プリリアント II 位置比例 PID 制御 (逆動作) 6: プリリアント II 位置比例 PID 制御 (正動作)	1 ^a
<i>IdDP</i>	積分/微分時間の小数点位置	0: 1 秒設定 (小数点なし) 1: 0.1 秒設定 (小数点以下 1 桁)	0
<i>dGR</i>	微分ゲイン	0.1～10.0	6.0
<i>oHH</i>	二位置動作すきま上側	熱電対 (TC)/測温抵抗体 (RTD) 入力: 0～入力スパン (単位: °C) (小数点位置の設定によって異なる) 電圧 (V)/電流 (I) 入力: 入力スパンの 0.0～100.0 %	1 ^a
<i>oHL</i>	二位置動作すきま下側		1 ^a
<i>RoHE</i>	入力異常時動作上限	0: 通常制御 (現状の出力) 1: 入力異常時の操作出力値	0
<i>RunE</i>	入力異常時動作下限		0
<i>PSn</i>	入力異常時の操作出力値	-105.0～+105.0 %	0.0
<i>rnh1</i>	STOP 時の操作出力値 (MV1)	-5.0～+105.0 %	-5.0
<i>rnh2</i>	STOP 時の操作出力値 (MV2)		-5.0
<i>orU</i>	出力変化率リミッタ上昇 (MV1)	0.0～100.0 %/秒 (0.0: 機能なし)	0.0
<i>orD</i>	出力変化率リミッタ下降 (MV1)		0.0
<i>oLH</i>	出力リミッタ上限 (MV1)	出力リミッタ下限 (MV1)～105.0 %	105.0
<i>oLL</i>	出力リミッタ下限 (MV1)	-5.0 %～出力リミッタ上限 (MV1)	-5.0

^a 出荷値は製品の仕様によって異なります。

記 号	名 称	データ範囲	出荷値
<i>orU2</i>	出力変化率リミッタ上昇 (MV2)	出力変化率リミッタ上昇 (MV1) と同じ	
<i>orD2</i>	出力変化率リミッタ下降 (MV2)	出力変化率リミッタ下降 (MV1) と同じ	
<i>oLH2</i>	出力リミッタ上限 (MV2)	出力リミッタ下限 (MV2)～105.0 %	105.0
<i>oLL2</i>	出力リミッタ下限 (MV2)	-5.0 %～出力リミッタ上限 (MV2)	-5.0
<i>dFP</i>	微分動作選択	0: 測定値微分 1: 偏差微分	0
<i>US</i>	アンダーシュート抑制係数	0.000～1.000	1.000 ^a
<i>dbPR</i>	オーバーラップ/デッドバンド基準点	0.0～1.0	0.0
<i>F52</i>	ファンクションブロック 52	ファンクションブロック 52 の最初のパラメータ	
<i>RFb</i>	AT バイアス ^b	-入力スパン～+入力スパン	0
<i>RFc</i>	AT サイクル	0: 1.5 サイクル 1: 2.0 サイクル 2: 2.5 サイクル 3: 3.0 サイクル	1
<i>RFH</i>	AT 動作すきま時間	0.0～50.0 秒	10.0
<i>RFon</i>	AT オン出力値	AT オフ出力値～105.0 %	105.0
<i>RFof</i>	AT オフ出力値	-105.0 %～AT オン出力値	-105.0
<i>PLH</i>	比例帯リミッタ上限 [加熱側]	熱電対 (TC)/測温抵抗体 (RTD) 入力: 0 (0.0、0.00)～入力スパン ^b (単位: °C)	入力スパン ^a
<i>PLL</i>	比例帯リミッタ下限 [加熱側]	電圧 (V)/電流 (I) 入力: 入力スパンの 0.0～1000.0 %	0 ^a
<i>iLH</i>	積分時間リミッタ上限 [加熱側]	0～3600 秒または 0.0～1999.9 秒 (積分/微分時間の小数点位置による)	3600
<i>iLL</i>	積分時間リミッタ下限 [加熱側]		0
<i>dLH</i>	微分時間リミッタ上限 [加熱側]		3600
<i>dLL</i>	微分時間リミッタ下限 [加熱側]		0
<i>PcLH</i>	比例帯リミッタ上限 [冷却側]	熱電対 (TC)/測温抵抗体 (RTD) 入力: 1 (0.1、0.01)～入力スパン ^b (単位: °C)	入力スパン ^a
<i>PcLL</i>	比例帯リミッタ下限 [冷却側]	電圧 (V)/電流 (I) 入力: 入力スパンの 0.1～1000.0 %	1 ^a
<i>iCLH</i>	積分時間リミッタ上限 [冷却側]	積分時間リミッタ上限 [加熱側] と同じ	
<i>iCLL</i>	積分時間リミッタ下限 [冷却側]	積分時間リミッタ下限 [加熱側] と同じ	
<i>dCLH</i>	微分時間リミッタ上限 [冷却側]	微分時間リミッタ上限 [加熱側] と同じ	
<i>dCLL</i>	微分時間リミッタ下限 [冷却側]	微分時間リミッタ下限 [加熱側] と同じ	
<i>PRJ</i>	比例帯調整係数 [加熱側]	0.01～10.00 倍	1.00
<i>IRJ</i>	積分時間調整係数 [加熱側]		1.00
<i>dRJ</i>	微分時間調整係数 [加熱側]		1.00
<i>PcRJ</i>	比例帯調整係数 [冷却側]		1.00
<i>ICRJ</i>	積分時間調整係数 [冷却側]		1.00
<i>dCRJ</i>	微分時間調整係数 [冷却側]		1.00
<i>F53</i>	ファンクションブロック 53	ファンクションブロック 53 の最初のパラメータ	
<i>Ydb</i>	開閉出力中立帯	出力の 0.1～10.0 %	2.0
<i>YHS</i>	開閉出力動作すきま	出力の 0.1～5.0 %	1.0
<i>Ybr</i>	0: STOP 時のバルブ動作の設定に従う 1: 制御動作継続		0
<i>Pos</i>	開度調整	開度調整画面の状態でシフトキーを 5 秒間押すと、自動的に調整を開始します。	—
<i>noF</i>	コントロールモータ時間	5～1000 秒	10
<i>oLR</i>	積算出力リミッタ	コントロールモータ時間の 0.0～200.0 % 0.0: 積算出力リミッタ機能 OFF FBR 入力使用時は、無効になります。	150.0
<i>YRL</i>	STOP 時のバルブ動作	0: 閉側出力 OFF、開側出力 OFF 1: 閉側出力 ON、開側出力 OFF 2: 閉側出力 OFF、開側出力 ON	0
<i>YRSO</i>	開度出力保持機能	0: 無効 1: 有効	0
<i>F54</i>	ファンクションブロック 54	ファンクションブロック 54 の最初のパラメータ	
<i>SFS</i>	ST 起動条件	0: 電源 ON にしたとき、STOP から RUN に切り換えたとき、または設定値 (SV) を変更したときに起動 1: 電源 ON にしたとき、または STOP から RUN に切り換えたときに起動 2: 設定値 (SV) を変更したときに起動	0
<i>SfPE</i>	ST 比例帯調整係数	0.01～10.00 倍	1.00
<i>SfIE</i>	ST 積分時間調整係数		1.00
<i>SfDE</i>	ST 微分時間調整係数		1.00
<i>F55</i>	ファンクションブロック 55	ファンクションブロック 55 の最初のパラメータ	
<i>CHrG</i>	自動昇温グループ	0～16 (0: 自動昇温機能なし)	0
<i>rSG</i>	RUN/STOP グループ	0～16 (0: RUN/STOP グループなし)	0
<i>CHrd</i>	自動昇温むだ時間	0.1～1999.9 秒	10.0

^a 出荷値は製品の仕様によって異なります。

^b データ範囲は、小数点位置によって異なります。

記 号	名 称	データ範囲	出荷値
<i>CHrF</i>	自動昇温傾斜データ	0.1～入力スパン/分	1.0
<i>F60</i>	ファンクションブロック 60	ファンクションブロック 60 の最初のパラメータ	
<i>CRP1</i>	通信 1 プロトコル	0: RKC 通信 1: MODBUS 2: コントローラ間通信 ^b	0 ^a
<i>CRP2</i>	通信 2 プロトコル	0: RKC 通信 1: MODBUS 2: コントローラ間通信	2
<i>F70</i>	ファンクションブロック 70	ファンクションブロック 70 の最初のパラメータ	
<i>SHrF</i>	設定変化率リミッタ単位時間	1～3600 秒	60
<i>SrdP</i>	ソーク時間単位	0: 0 時間 00 分～99 時間 59 分 1: 0 分 00 秒～199 分 59 秒	1
<i>F71</i>	ファンクションブロック 71	ファンクションブロック 71 の最初のパラメータ	
<i>SLH</i>	設定リミッタ上限	設定リミッタ下限値～入力スケール上限 (小数点位置の設定によって異なる)	入力スケール上限
<i>SLL</i>	設定リミッタ下限	入力スケール下限～設定リミッタ上限値 (小数点位置の設定によって異なる)	入力スケール下限
<i>F91</i>	ファンクションブロック 91	ファンクションブロック 91 の最初のパラメータ	
<i>C492</i>	ROM バージョンモニタ	搭載ソフトウェアのバージョンを表示します。	—
<i>CF</i>	積算稼働時間モニタ	0～19999 時間	—
<i>FLU</i>	周囲温度ピークホールド値モニタ	-10.0～+100.0 °C	—

^a 出荷値は製品の仕様によって異なります。

^b 通信機能が 1 点の場合のみ選択できます。

表 1: デジタル入力 (DI) 割付

設定値	DI1	DI2	DI3	DI4	DI5
1	不使用	不使用	不使用	不使用	不使用
2	メモリエリア番号切換 (1~8)			メモリエリアセット	RUN/STOP 切換
3	メモリエリア番号切換 (1~8)			メモリエリアセット	不使用
4	メモリエリア番号切換 (1~8)			メモリエリアセット	AUTO/MAN 切換
5	メモリエリア番号切換 (1~8)			メモリエリアセット	インターロック解除
6	メモリエリア番号切換 (1~8)			RUN/STOP 切換	不使用
7	メモリエリア番号切換 (1~8)			RUN/STOP 切換	AUTO/MAN 切換
8	メモリエリア番号切換 (1~8)			RUN/STOP 切換	インターロック解除
9	メモリエリア番号切換 (1~8)			不使用	AUTO/MAN 切換
10	メモリエリア番号切換 (1~8)			不使用	インターロック解除
11	メモリエリア番号切換 (1~8)			AUTO/MAN 切換	インターロック解除
12	メモリエリア番号切換 (1~8)				
13	RUN/STOP 切換	REMLOC 切換 *	AUTO/MAN 切換		
14	RUN/STOP 切換	REMLOC 切換	インターロック解除		
15	RUN/STOP 切換	AUTO/MAN 切換	インターロック解除		
16	REMLOC 切換 *	AUTO/MAN 切換	インターロック解除		
17	RUN/STOP 切換	REMLOC 切換 *			
18	RUN/STOP 切換	AUTO/MAN 切換			
19	RUN/STOP 切換	インターロック解除			
20	REMLOC 切換 *	AUTO/MAN 切換			
21	REMLOC 切換 *	インターロック解除			
22	AUTO/MAN 切換	インターロック解除			
23	RUN/STOP 切換				
24	REMLOC 切換 *				
25	AUTO/MAN 切換				
26	インターロック解除				

AUTOMAN 切換: オート/マニュアル切換 REMLOC 切換: リモート/ローカル切換

* リモート設定入力および通信がないオプション機能 (A、C、D) の場合、リモート/ローカル切換は無効となります。

表 2: 出力割付

DO1～DO2 は、励磁、非励磁の選択が可能です。(ただし、FAIL は非励磁固定です。)

設定値	OUT1	OUT2	DO1	DO2	設定値	OUT1	OUT2	DO1	DO2
1	MV1	MV2	EV1	EV2	9	MV1	HBA	EV1	EV4
2	MV1	MV2	EV1	EV4	10	MV1	HBA	EV1	FAIL
3	MV1	MV2	EV1	HBA	11	MV1	HBA	EV4	FAIL
4	MV1	MV2	EV1	FAIL	12	MV1	FAIL	EV1	EV2
5	MV1	MV2	EV4	HBA	13	MV1	FAIL	EV1	EV4
6	MV1	MV2	EV4	FAIL	14	MV1	EV1	EV2	EV3
7	MV1	MV2	HBA	FAIL	15	MV1	EV4	EV1	EV2
8	MV1	HBA	EV1	EV2					

MV1: 制御出力 1、MV2: 制御出力 2、HBA: ヒータ断線警報、FAIL: フェイル出力 (非励磁のみ)。

EV1～EV4: イベント出力 1～イベント出力 4

– 位置比例 PID 制御の場合は、上記の選択にかかわらず、OUT1 は開側出力、OUT2 は閉側出力になります。

– CT 入力 2 点の場合、HBA 出力は OR になります。